

2023年2月6日

ローム株式会社

世界で活躍するローム ミュージック フレンズによる音楽家育成セミナー ローム ミュージック セミナー2023<宮田大・チェロクラス>【受講生募集】



ローム株式会社(本社:京都市)が支援する公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション(京都市)は若い音楽家を育成するため、国内外で活躍するローム ミュージック フレンズを講師とした「ローム ミュージック セミナー」を2023年も開催し、受講生を募集いたします。

ローム ミュージック ファンデーションは1991年の設立以来、若い音楽家の育成に力を入れてきました。これまでの育成事業に関わった音楽家「ローム ミュージック フレンズ」は4700人を超え、国際コンクール優勝者も誕生するなど、国内外のオーケストラや舞台上で、幅広く活躍しています。

2019年より開催している本セミナーでは、国際経験豊かなローム ミュージック フレンズを講師に迎え、国際コンクール入賞や海外でのコンサート開催など、世界を舞台に活躍する音楽家を目指す方を対象にレッスンをを行います。

2019年から継続してセミナー講師を務める宮田大は、第9回ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールで日本人として初優勝、その後国内外で活躍を続けている日本を代表するチェリストです。留学やコンクール出場など豊かな国際経験を基にした実践的なセミナーを少人数で実施するため、密度の濃いレッスンを受けることができます。また、本セミナーの最終日には成果発表のコンサートとして受講生の演奏とともに講師である宮田大の演奏も行います。

■ ローム ミュージック セミナー<宮田大・チェロクラス>2023概要

- 日時** : セミナー / 2023年7月31日(月)~8月4日(金)
31日/13:00~20:30、1日~4日/10:00~20:30
コンサート / 2023年8月5日(土) ※コンサートの詳細については後日発表いたします。
14:00~16:00
- 会場** : ロームシアター京都 サウスホール(京都市左京区岡崎最勝寺町13)
- 指導講師** : 宮田 大(チェロ)<ローム ミュージック ファンデーション2010~2012年度奨学生 他 >
- 受講生** : 若干名(講師による選考審査を通じて決定)
- 料金** : 審査料 / 5,000円(セミナー応募時)
参加料 / 60,000円(セミナー参加時/受講料、期間中の宿泊費含む)
- 応募資格** : ①将来、国際的な活動を行う音楽家を目指す方
②日本国籍を有する方
③高校生以上
④セミナー及びコンサートの全期間に参加できる方
※選考に際しては、実力だけではなく、現在の学習状況等セミナー受講の必要性を検討した上で決定します。
- 申請方法** : チラシまたは ローム ミュージック ファンデーションの公式WEBサイトをご参照ください。
<https://micro.rohm.com/jp/rmf/index.html>
- 申込締切** : 2023年4月7日(金)<必着>
- 主催** : 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
- 協賛** : ローム株式会社
- 後援** : 京都府、京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、
一般財団法人日本チェロ協会

■ 指導講師 宮田 大からのメッセージ

2022年は感染症拡大防止対策を徹底しながら無事に開催することができ、今回が第4回目を迎えます。これまでにセミナーに参加された受講生の共通点としては、全員がしっかりと音楽へのアプローチ、そこに個性もあり、自分自身がどんな音楽を演奏したいのか、これからどんな演奏家になっていきたいのかがハッキリしてました。

長引くコロナ禍で演奏する場が減ってきていたので、受講生の演奏がより一層力溢れていて、音楽で気持ちを伝えたい、多くの事を学びたいという気持ちがセミナー中伝わってきます。セミナーの期間の受講生との音楽で対話した時間は私にとってかけがえのない時間となりました。

これから留学したり、演奏会をひかえていたり、コンクールを受けたりする若きチェリストの殻を破り、新たな自分の音楽を見つけるきっかけを指導出来たらと思っております。2023年度も沢山のチェリストに会える事を楽しみにしております。

■ 指導講師プロフィール



宮田 大(みやた だい) チェロ

＜ローム ミュージック ファンデーション2010～2012年度奨学生/2003、2004年小澤征爾音楽塾塾生＞

2009年、ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールにおいて、日本人として初めて優勝。これまでに参加した全てのコンクールで優勝を果たしている。その圧倒的な演奏は、作曲家や共演者からの支持が厚く、世界的指揮者・小澤征爾氏にも絶賛され、日本を代表するチェリストとして国際的な活動を繰り広げている。スイスのジュネーヴ音楽院卒業、ドイツのクロンベルク・アカデミー修了。チェロを倉田澄子、フランス・ヘルメルソンの各氏に、室内楽を東京クワルテット、原田禎夫、原田幸一郎、加藤知子、今井信子、リチャード・ヤング、ガポール・タカーチ＝ナジの各氏に師事する。マスメディアでも「小澤征爾さんと音楽で語った日～チェリスト・宮田大・25歳～」 「題名のない音楽会」 「徹子の部屋」 「クラシックTV」 などへ出演している。

録音活動も活発で、最新アルバムは2022年10月に『ラフマニノフ：チェロ・ソナタ』をリリース。2019年はトーマス・ダウスゴー指揮、BBCスコットィッシュ交響楽団との共演による『エルガー：チェロ協奏曲』をリリース。欧米盤が、欧州のクラシック界における権威のある賞の一つ「OPUS KLASSIK 2021」において、コンチェルト部門(チェロ)で受賞。そのほか『Piazzolla』『Travelogue』などをリリース。

近年は国際コンクールでの審査員や、2019年ローム ミュージック セミナーの講師を務めるなど、若手の育成にも力を入れている。

使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1698年製A.ストラディヴァリウス“Cholmondeley”である。

■ 過去のセミナーの様子を動画で公開 (<https://micro.rohm.com/jp/rmf/activity/movie/index.html>)



以上

